



File 8

【 特別支援学校教諭 】

令和7年度採用 1年目
県央地区(宇都宮市) 勤務

○ 教員を目指したきっかけ

私が教員を目指したきっかけは二つあります。

一つ目は、通っていたピアノ教室の先生のお話です。特別支援学校での勤務経験があり、特別支援学校には、音楽が好きな子供が多いと伺いました。自分の好きなことや得意なことを子供たちと共有できたら素敵だなと感じ、興味をもちました。

二つ目は、中学生の頃、交流及び共同学習で近隣の特別支援学校を訪問したことです。実際に授業に参加させていただいた際、先生方が子供たちの良いところをたくさん見つけていること、またそれを積極的に伝えている姿が印象的で、特別支援学校の教員を目指すことにしました。



○ 初めて教壇に立った時のこと



私が教員として初めて行った授業は、音楽でした。様々な実態の子供たちに対して、全員がそれぞれに適した形で音楽の良さを感じられる授業にしようという1年間の目標を立てたことを覚えています。「この歌を気に入ってくれるかな。」「こんな工夫をすれば楽器を鳴らすタイミングが分かるかな。」と、まだ会ったばかりの子供たちの姿を思い浮かべながら準備をしました。

授業前は不安と緊張でいっぱいでしたが、楽しそうに歌ったり、真剣に楽器を鳴らしたりする子供たちの姿を見てうれしい気持ちになりました。今でも子供たちからの「授業楽しかったよ！」の言葉や、その日学んだことを一生懸命伝えてくれる姿に、日々元気をもらっています。

○ 職場環境や研修体制

私が勤務している学校は温かい雰囲気であり、分からないことや不安なことがあったときに助けてくださる先生方がたくさんいらっしゃいます。他学級と合同で授業を行うことも多く、様々な先生の授業づくりや教材づくりの工夫、子供たちとの関わり方などを目の前で見学させていただいています。

また、校内での研修会を定期的に行ってくださったり、療法士との連携がとりやすい環境にあたりと、知識を深めていくための機会が多く、肢体不自由児が在籍する学校ならではの学びを得ることができています。



○ 教員を目指す方へのメッセージ

子供たちの成長を実感できた時、やりがいや喜びはもちろん、人生の一部に密に関わっている責任も感じつつ、その度に教員は素敵な仕事だと実感します。教材研究や校務分掌、子供たちとの関係づくりなど、大変なことや悩むこともあります。子供たちの「できた」を見つける瞬間、それを一緒に喜べる瞬間が励みになり、頑張ることができています。また、子供たちだけではなく、職場の先生方、保護者の方など、いろいろな方の存在が自分を前に進ませてくれる仕事だと思っています。

教員を目指している皆さん、子供が好きな皆さん、その気持ちがあればきっと、子供たちは皆さんのことが好きになると思います。一緒に働ける日を心待ちにしています。



＼ 特別支援学校教諭のとある1日 ／ ※小学部:肢体不自由部門、副担任(勤務時間は参考例です。)

8:25	出勤、授業準備	
8:25～ 8:40	指導体制の確認、朝の打合せ 等	○児童の様子や表情を直接見たり、保護者の方と話をしたりして、その日の様子を確認しています。変化があったらすぐに気づけるよう、気を配ります。
8:40～ 8:50	児童の受け入れ	
8:50～ 9:35	授業①:日常生活の指導(排泄指導、荷物準備、係活動) 朝の会	
9:40～10:25	授業②:音楽(冬の歌を歌おう)	
10:35～11:20	授業③:国語(どんなきもちかな)	
11:25～12:10	授業④:日常生活の指導(余暇活動、排泄指導、午前の学習の振り返り)	
12:10～13:30	昼食指導、昼休み	○児童一人一人の実態に応じた学習を行っています。机上でコミュニケーションの学習をしたり、特別教室に行つて遊具を用いた粗大運動をしたりします。
13:30～14:15	授業⑤:自立活動	
14:20～15:05	授業⑥:算数(個別学習)	
15:05～15:15	帰りの準備、帰りの会	
15:15～15:35	下校指導	
15:35～16:55	教室清掃、一日の振り返り、授業準備 等	
16:55	退勤	○先生方とその日の児童の様子を共有したり、御助言をいただいたりします。